



あっぷねす

発行：弘前大学生協本部
〒036-8224 弘前市文京町1番地
Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965
2022年11月15日 第148号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.148

大学生協アプリ 2023年1月 スタート!

スマホ1つで色々なことが行えるようになり便利に!

2023年1月1日から大学生協公式アプリの運用がスタートします。今までは組合員証（ICカード）を皆様お持ちかと思いますが、こちらがアプリに内蔵され「デジタル組合員証」として利用できます。

アプリ登録でこんなことができます!

デジタル組合員証

いつも持っているスマホなので忘れにくくなり、アプリに表示されるバーコードを提示いただくので置き忘れが減ります。

スマホ決済

現在利用いただいている「ミール」「Pico」の機能もアプリに内蔵されます。アプリを起動し、バーコードをかざしていただくことで電子マネー決済ができます。

いつでも利用履歴・残高の確認が行えます。

※チャージは今まで通り「チャージ機」または「有人レジ」で行えます。

生協店舗利用時間や生協からのお得な情報をリアルタイムで受け取ることができます。



アプリのインストールは12月1日～解禁されます。詳しくは店頭ポスターや生協ホームページをご覧ください。12月上旬に生協店舗にてアプリ切替相談窓口を設ける予定ですので、こちらもお活用ください。組合員の皆様、必ずアプリインストール、サインアップとPokePay認証をよろしくお祈いします。※スマホがなくて大学生協アプリをインストールできない方は別途対応を予定しております。

【生協加入のご案内】

弘前大学生協同組合（以下、弘大生協）は、弘前大学の学生・教職員が自分たちの生活を充実させる様々な事業を行うため、出資金を出し合って作っている組織です。日頃ご利用いただいている食堂やお店、研究室への配達、各種サービスなどは、出資金をもとに運営しています。

まだご加入されていない方は、ぜひご加入をお願いいたします。

【弘大生協への加入方法】

加入受付店舗：SHAREA・FERIO・Clover

- ・出資金は、50口25,000円をお願いしています。
- ・出資金は、加入時に一括してお預かりすることもできますが、指定の口座から毎月指定の額（1,000円以上）を出資金として積立・増資していくことも可能です。
- お預かりした出資金は、弘前大学を退職・転勤などで離れる際に全額返還いたします。
- 指定口座のご登録をいただくと、お電話での注文や店舗でのお買い物の際、口座引落でのお会計をすることができます。生協加入について、ご不明な点などございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

弘前大学生協同組合 本部経理店 大学内線 2138

メールでのお問合せは弘前大学生協ホームページ>よくある質問・お問合せページ「お問合せ」より。



学習会

第1号議案 共済給付事例学習

弘大生の給付事例について学習をしました。今年度は、新型コロナウイルス感染による給付が多く8月時点で昨年1年間の給付件数・金額を上回っていることが特徴です。

協議事項

第2号議案 弘大生協第9次中期計画策定

前回理事会に引き続き、中期計画について5年間に生協の事業に期待することなどについて協議しました。

この議案については、SHAREAの売り場の有効活用や、パソコン・スマホの充電場所の増設、コロナや値上げがある中でも利用してもらえる食堂のあり方について意見がありました。

今後も継続して協議し総代会で確認することとしました。



第3号議案 食堂商品の価格改定

急激な食材の高騰、その他物件費・人件費等のコスト増による経営圧迫への対応と食堂持続危機回避を目的とした「食堂メニュー価格改定」について提案が事業連合よりあり、弘大生協としての意見をまとめるため協議をしました。

この議案については、ロスを出さない工夫、厨房機器の効率化をして値上げ幅縮小の努力や、現在利用していない組合員に向けて新しいメニューや300円台でお腹がいっぱいになる丼などメニュー開発について意見がありました。

議決事項

第4号議案 2023年度新学期方針

第5号議案 常務理事の交代について

第6号議案 労働組合「2022年度秋闘要求書」「年度末特別手当に関する要求書」への回答

第4号～第6号議案については、全会一致で可決承認されました。

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

REP#4を 開催しました。

開催日：10月4日(火) 18:00～20:00

場所：大学会館2階 Scorum

参加人数：63名(総代数：28名 学生委員会：29名 職員数：6名)

開催 目的

- ① 総代が組合員から集めてきた意見・要望を、正規職員・学生委員会に直接届ける場所を設けること。
- ② 総代・職員・学生委員会の三者の間の隔たりを無くし、総代が生協に深く関わっている人々とより気軽に話せるようにし、総代活動を活発化させること。

今回は後期最初のREPセッション(総代交流会)でした。SHAREA 芹田店長よりSHAREAの取り組みについてお話ししました。常設で12000冊以上の本を取り扱っていることに驚いている総代が多かったです。意見回収ではよく使っている文房具や勉強法といった話題のもと自由に意見交流しました。筆箱の中を見せ合う、おすすめの本について語り合うなど各班盛り上がりがありました。

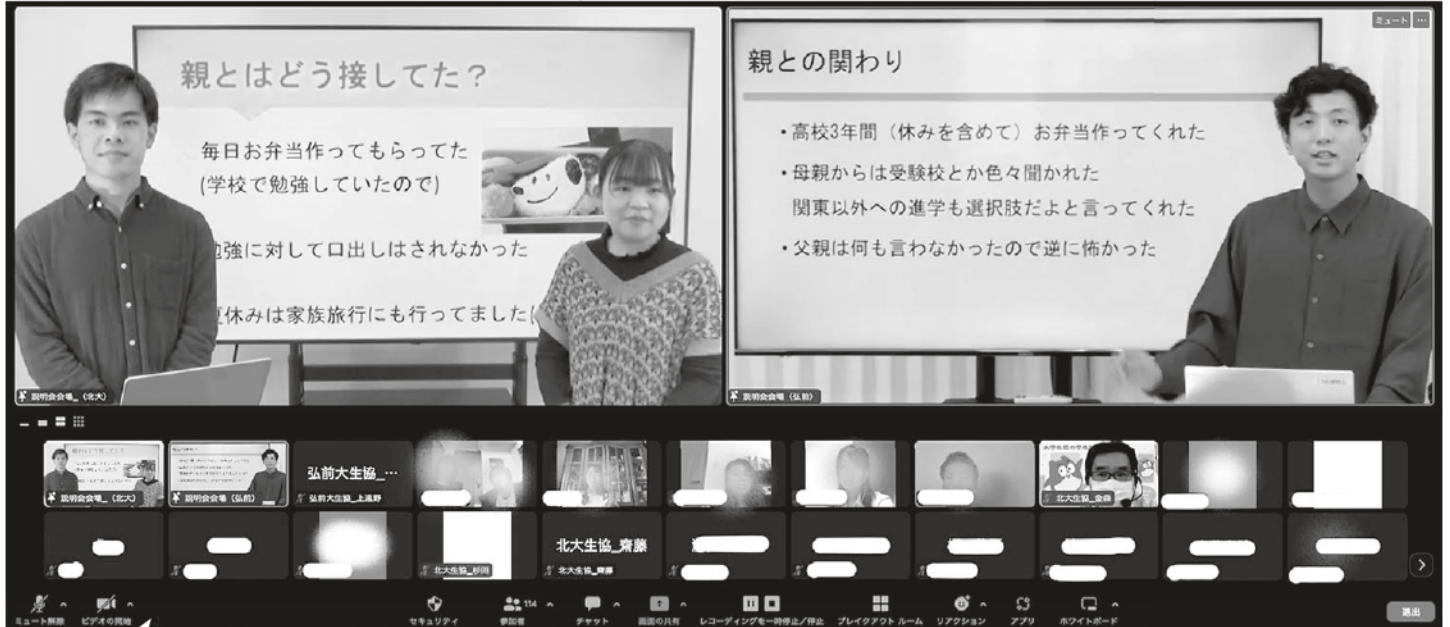


後期からは総代主体で組合員を巻き込んだ「総代企画」がはじまります。今回は「ごみ処理」をテーマに、普段ごみを捨てるうえでの疑問について話し合いました。プラスチックやペットボトルのラベルの分別などが話題に上がりました。久々のREPセッションでしたが、どの班も積極的に意見を交流していました。

生協学生委員会 人文社会科学部2年 篠崎美沙

開催
目的

受験生と保護者に、北大と弘大の現役大学生が自身の受験時から大学生活までの体験を伝えることで不安を解消し大学生生活の具体的なイメージを持ってもらう。



「志望した理由」「勉強について」「一人暮らしの生活」「アルバイト」「サークル」「高3の今頃は何してた?」「保護者との関わり方」「受験生に向けてのアドバイス」等テーマに応じて、北大、弘大それぞれの学生が順番に話しました。住まいの紹介や決定までの流れ等はそれぞれの生協職員が地域の特徴を紹介しながら伝えました。

(左) 北大発表者 (右) 弘大発表者

北海道出身者が多い弘大なので普段アプローチがあまりできない北大を考えている受験生に対して、北大・弘大それぞれの魅力をお伝えできたと考えています。具体的には各大学の学生プレゼンターが自身の勉学・研究内容や私生活、住環境などについて北大・弘大の類似点や特色をお話ししました。参加者の声として保護者から「本人にも見せたかった」や「学生の生の声を聞いてよかった」などいただきました。トラブルなどもありましたが、最後まで一緒にやり遂げることができました。

大学生活アドバイザー 理工学部4年 高橋横公

【参加者感想】

- 皆様が楽しみながら学生生活を頑張っておられるご様子がよくわかり、我が子も是非この大学で学んでほしい！と思いました。本日はありがとうございました。
- 詳しい説明をしていただき、ありがとうございました。実際の声を聞くことができ、受験に向けての具体的なイメージを持つことができました。



パソコンサポート無料相談会を開催しました。

10月11日～13日、入学時に生協でパソコン（dynabook・富士通）を購入いただいた方対象に開催しました。

生協では先輩の意見を聞きながら4年間使い続けられる性能やトラブルの際の保障を重視してパソコンをご用意しています。

トラブルの時も学内で相談できる「サポートデスク」や保障、サービスがあるので安心です。

学生総合共済からのお知らせ

9月のお支払い状況

病気入院	6件
病気手術	6件
事故入院	139件
事故通院	5件
こころの早期対応	1件
計	157件

お支払い金額

13,574,000円

たすけあいアンケートより

「頼れるときに生協に頼ろう!」

(スポーツ事故

バスケットボールのサークル中、足をねんざした。

通院21日 共済金42,000円)



*G1200コース加入者のお支払い件数を掲載しています。

新型コロナウイルス感染症に伴う「みなし入院」による入院共済金の取り扱いが変更になりました。
2022年9月26日(月)以降に新型コロナウイルス感染症と診断された方について、みなし入院(自宅療養・宿泊療養)に関して共済金の支払い対象が変わります。
詳しくはco-op学生総合共済のホームページ(新型コロナウイルス感染症ページ)をご参照ください。

津軽の食と産業まつり

開催日: 10月14日(金)~16日(日) 参加: 15日(土)・16日(日) 場所: 弘前市運動公園内
参加人数: 学生委員会9名(15日4名・16日7名)



弘前市は今年度、環境省の「ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業」実施自治体に採択され、「2022津軽食と産業まつり」において生協でも使用している(株)ヨコタ東北のエコ容器を事業者に配布し、回収することで使い捨てプラスチックの削減に取り組むことを決定しました。そこで生協にも協力が依頼され、学生委員会がボランティアとして参加しました。

※弘前大学生協は2021年11月に弘前市とごみ減量化・資源化の取り組みに
かんする協定を締結しています。



来場者の「へえ〜、こうやるんだ〜」「いや〜、すごいね〜」という声は普段の企画で対応する大学生とは異なる感想を得られる貴重な経験でした。

活動の中で得た感想としてイベント時のごみが多かったです。今回はエコ容器のほかに一般的な使い捨て容器などが存在しました。エコ容器は表面のフィルムのみごみになりますが(フタがある場合はそちらも)、他の容器はすべて燃やせるごみになってしまうため、もったいないという気持ちが大きく残りました。また、食べ残しについても水切りした上で燃やせるごみになりますが、中には半分以上残す人もいたため、フードロス問題について関心が高まりました。

生協学生委員会 人文社会科学部2年 中村優翔

編集後記



10/17(月)~28(金)の期間、たびshopで「ベジチェック」を開催していました。(11/7(月)~11(金)生協まつり期間中は食堂Horestでも開催)手のひらで野菜摂取量を推定。12段階で野菜摂取レベルを表しレベル7以上で「足りてる」状態です。

約30秒で測定できるので、学生の皆さんには空きコマで測定も。あくまで摂取量は目安ですが平均で4~6レベル、なかなかレベル7を超える方はいませんでした。野菜不足は大人も同じ。あなたの野菜、足りてる?(SHIMO)